

2025 年 5 月 21 日

報道機関各位

株式会社陽進堂

人工腎臓用透析液 「カーボスター®透析剤 2 号・L」、「カーボスター®透析剤 2 号・P」 の発売について

株式会社陽進堂（本社：富山県富山市、社長：北村博樹、以下「陽進堂」）は、2025 年 3 月 27 日付で製造販売承認を取得した人工腎臓用透析液「カーボスター®透析剤 2 号・L」、「カーボスター®透析剤 2 号・P」を 2025 年 5 月 21 日に発売しますのでお知らせいたします。

昨今、透析患者の平均年齢は上がり続けており¹⁾、高齢化に伴う食事量の減少やその内容の変化によって低体重に陥ることが懸念されています。それに伴い、低カリウム血症や低マグネシウム血症の発症リスクは高くなると考えられ、これらは生命予後に関与することが示唆されています^{2)、3)、4)}。

また、一般的には代謝能力の低い高齢者や低体重の患者では、過度なアルカリ化に注意が必要であると考えられる報告があります⁵⁾。

そこで、こうした現在の透析療法のニーズを考慮し、新たな選択肢となる透析剤が必要と考え、2007 年に上市したクエン酸緩衝系を使用したカーボスター®透析剤の開発コンセプトを継承しながら、カリウム、マグネシウム及び重炭酸の配合量を見直した透析剤の開発を行いました。

本剤の開発は、陽進堂グループの事業会社の一つであるエイワイファーマ株式会社（本社：東京都中央区、社長：稲垣伸一、以下「AYP」）と共同で実施したものであり、製造は AYP、販売は陽進堂が行います。

陽進堂について

現在は陽進堂グループの事業会社の一つであり、1929 年の創業以来、原薬から製剤まで、一貫した研究開発・製造・販売の確かな体制を整え、高品質でリーズナブルな価格のジェネリック医薬品を製造するメーカーとして、大きな信頼を得てきました。現在、輸液・透析液などのエッセンシャルドラッグやバイオ医薬品にも取り組んでおり、これからの日本に「なくてはならない製薬企業」を目指し果敢に挑戦していきます。

本件に関する問い合わせ先：

株式会社陽進堂

経営戦略本部経営企画部

[TEL:076-465-7777](tel:076-465-7777)



参考：承認されている効能又は効果、用法及び用量

効能又は効果

慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として、以下の要因を持つものに用いる。

○無糖の透析液では、血糖値管理の困難な場合

○カルシウム濃度の高い透析液では、高カルシウム血症を起こすおそれのある場合

用法及び用量

カーボスター®透析剤 2 号・L

用時、本剤の B 剤 1 容に対し水 26 容を加えて希釈し、この希釈液 34 容に対して A 剤 1 容を加えて希釈して用いる。用量は、透析時間により異なるが、通常、灌流液として 150～300L を用いる。

カーボスター®透析剤 2 号・P

用時、本剤の A 剤 1 包を精製水に溶かして 10L の水溶液（A 液）とする。

本剤の B 剤 1 包を精製水に溶かして 12.6L の水溶液（B 液）とする。B 液 1 容に対し水 26 容を加えて希釈し、この希釈液 34 容に対して A 液 1 容を加えて希釈して用いる。

用量は、透析時間により異なるが、通常、灌流液として 150～300L を用いる。

引用

- 1) 透析会誌 2024 57(12) 543-620
- 2) Blood Purif 2011 32 254-261
- 3) Kidney Int 2014 85 174-181
- 4) 図説 わが国の慢性透析療法の現況（2009 年 12 月 31 日現在）
- 5) Am J kidney Dis 2015 66(3) 469-478